

エンジョイ二期倶楽部塾

1. 目的・活動経緯



第二の人生は
こころ豊かに
塾長 神田 敬子

エンジョイ二期倶楽部は、職をリタイアした人、子育ての時期を終えた人たちが、第二の人生を一層楽しいものにするために「元気を出そう！ふれあい健康づくり」を目標に活動しているグループで、昨年立ち上げました。

今年度初めて、播磨町のゆめづくり塾に応募させて頂きました。

いま、ふれあいと健康づくりの一つとして柏原町生まれの軽スポーツ「囲碁ボール」をとり上げています。「囲碁ボール」は、体にやさしいスポーツですので、長く続けて楽しむことができます。みんなが気に入り、仲間づくりが出来ています。

塾活動としましては、囲碁ボール大会、ふれあいと健康に関する講演会やいろいろな体験、研修、町や県行事の盛り上げ協力などに取り組み、めまぐるしい1年間でした。手応えのある活動で、もっともっと充実していきたいと思っています。

そして、今年度からは、新たな活動に取り組みました。それは、これまでの活動が「ふれあいと健康」を通しての私たち自身の向上と地域の方々に参加を呼びかけることでしたが、一歩踏み出して、もう一つのボランティアに取り組みだこと。熟年パワーとして、地域のために、社会のために少しでも役立ちたいと思っていたからです。

一つは、コンビニエンスストアが取り組んでいる「セーフティステーション活動」への協力です。コンビニの活動は、「まちの安

全・安心な生活拠点づくり」と「次世代の青少年健全育成」への取り組みです。なかでも女性・子ども等の駆け込みへの対応、緊急事態に対する110番、119番通報は、時節柄、重要であり、私たちが、毎日ウォーキングや買い物でコンビニ周辺を生活圏にしていることから、子供たちを不審者から守るために緊急時は、自らが処置することは勿論ですがコンビニに駆け込み連絡をお願いすることにしました。名付けて「駆け込み・セーフティステーション活動」。発足式には、コンビニのオーナーや店長、それに教育長さんも駆け付けてくださいました。とても嬉しく、皆の励みになりました。新聞、テレビの取材も頂き、地域のみなさんに知って頂く機会になりました。

もう一つは、施設からのお話しもあり、福祉施設慰問に行かせて頂きました。施設入所の方々からの思いがけない感謝の言葉、施設長さんからもお礼の書簡を頂き、皆で感激しました。みんなで力一杯演技したことを認めて頂いたと思います。

これらの活動は、今後も続けさせていきたいと思っています。

さまざまな活動で、エンジョイ二期倶楽部のメンバーは、皆若々しく元気いっぱい。いつまでも学びあえる仲間でありたいと願っています。そして、仲間が増えていくことで、医療費の節減や被介護者、寝たきりの減少、閉じこもりが少なくなり、元気いっぱいの明るい地域づくりが出来ていくような気が致します。

この1年間、県や町並びに関係のみなさんにこころ暖まるご指導とご鞭撻を頂きました。会員のみなさんには、ご支援ご協力を頂きました。こころから感謝を申し上げます。

ありがとうございました。

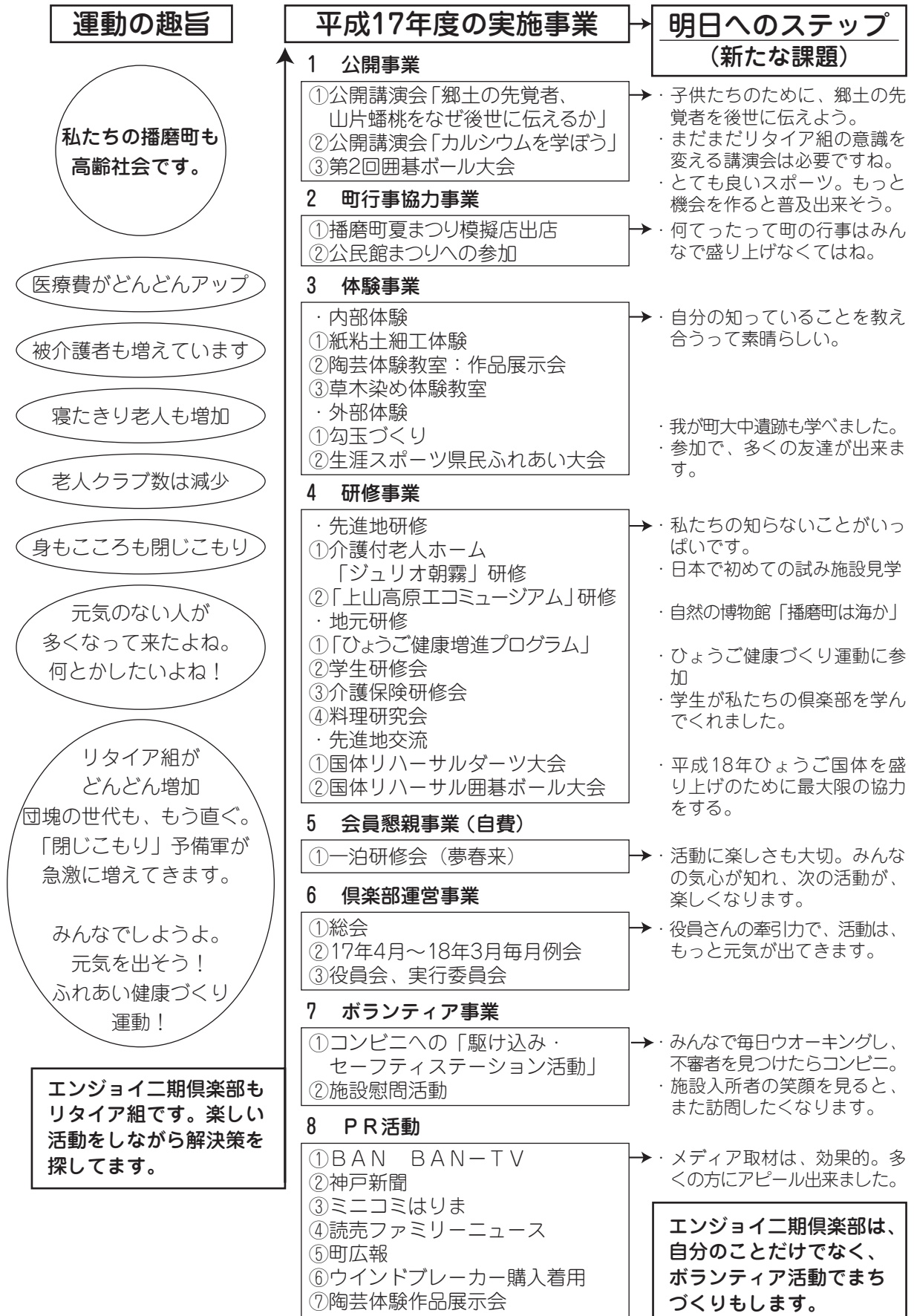
2 塾の活動記録と感想

1) 元気を出そう！ふれあい健康づくり運動 平成17年度事業実績報告

No.	活動種類No.	日程	事業内容	実施場所	対象	参加数
1	役員会1	4月17日	役員会	古田津村邸	役員	7
2	月例会1	4月30日	4月例会	播磨町中央公民館	会員	19
3	月例会2	5月29日	5月例会	播磨町中央公民館	会員	14
4	内部体験1	5月29日	紙粘土細工体験	播磨町中央公民館	会員	14
5	先進研修1	6月11日	介護老人ホームジュリオ朝霧見学	明石市大蔵谷	会員	19
6	月例会3	6月11日	6月例会	ジュリオ朝霧会議室	会員	19
7	内部体験1	6月12日	紙粘土細工体験	播磨町中央公民館	会員	10
8	内部体験1	6月19日	紙粘土細工体験	北本荘播磨建販倉庫	会員	9
9	月例会4	7月9日	7月例会	播磨町中央公民館	会員	16
10	実行委会1	7月16日	夏祭り模擬店出店実行委員会	古田いるか	役員	6
11	町協賛1	7月30日	播磨町夏祭り模擬店出店	播磨町浜田球場	会員	23
12	町協賛1	7月31日	播磨町夏祭り模擬店出店後片づけ	各所	会員	19
13	総会1	8月10日	平成17年度総会	播磨町中央公民館	会員	19
14	月例会5	8月10日	8月例会	播磨町中央公民館	会員	19
15	研修会1	8月10日	ひょうご健康増進プログラムの実施	播磨町中央公民館	会員	19
16	役員会2	8月17日	ひょうごハートブリッジ運動登録	古田いるか	会員	4
17	ボランティア1	8月26日	施設慰問打合せ	特老施設あえの里	役員	3
18	先進研修2	8月31日	上山高原エコミュージアム研修会	夢春来会議室	会員	16
19	月例会6	9月11日	9月例会	播磨町中央公民館	会員	13
20	アピール1	9月18日	ウインドブレーカー購入配布	事務局	会員	26
21	先進交流1	9月25日	国体リハーサル・ダーツ大会参加	おおやスポセンター	会員	10
22	月例会7	10月2日	10月例会	播磨町中央公民館	会員	15
23	内部体験2	10月2日	陶芸体験教室	播磨町中央公民館	会員	15
24	研修会2	10月5日	学生研修会(囲碁ボール公開練習)	播磨町福社会館	会員他	22
25	先進交流2	10月9日	国体リハーサル・囲碁ボール大会	丹波市柏原公民館	会員	10
26	実行委会2	10月24日	播磨町囲碁ボール大会実行委員会	古田いるか	役員	8
27	公開事業1	10月30日	播磨町第2回囲碁ボール大会	播磨町中央公民館	一般	80
28	月例会8	11月6日	11月例会	播磨町郷土資料館	会員	15
29	外部体験1	11月6日	勾玉づくり体験	播磨町郷土資料館	会員	15
30	ボランティア2	11月22日	施設慰問	「あえの里」	会員	15
31	外部体験2	11月23日	生涯スポーツ「県民ふれあい大会」	神戸しあわせの村	会員	14
32	アピール2	11月30日	陶芸体験教室作品飾り付け	播磨町中央公民館	会員	7
33	月例会9	12月10日	12月例会	二子北公民館	会員	15
34	内部体験3	12月10日	草木染め体験	二子北公民館	会員	15
35	実行委会3	1月5日	コンビニ駆込み発足式実行委員会	古田いるか	役員	5
36	ボランティア3	1月10日	コンビニ駆込み発足式	播磨町中央公民館	会員他	26
37	月例会10	1月10日	1月例会	播磨町中央公民館	会員	15
38	講演会1	1月29日	「山片蟠桃」公開講演会	播磨町中央公民館	一般	62
39	講演会2	2月5日	「カルシウム」公開講演会	播磨町中央公民館	一般	101
40	月例会11	2月5日	2月例会	播磨町中央公民館	会員	15
41	実行委会4	2月26日	公民館まつり参加実行委員会	古田いるか	役員	6
42	町協賛2	3月5日	公民館まつり参加(料理研究会)	播磨町中央公民館	会員	29
43	月例会12	3月12日	3月例会	播磨町中央公民館	会員	18
44	研修会3	3月12日	介護保険事業研修会(当町の場合)	播磨町中央公民館	会員	18

2) 「元気を出そう！ふれあい健康づくり運動」平成17年度事業のまとめ

平成18年3月31日 エンジョイ二期倶楽部



(1) 一般の方に呼びかけた「公開事業」

① 第2回播磨町ふれあい囲碁ボール大会 平成17年10月30日 播磨町中央公民館

囲碁ボールは、誰でも気軽に楽しめる兵庫 県柏原町で生まれた生涯スポーツです。高度なテクニックを



発揮したり、さまざまな作戦が展開できる奥の深さのあるスポーツです。そして、仲間との楽しいふれあいと健康づくりが出来ます。

地域には、高齢者をはじめ、スポーツや文化活動になじめない人たちがいます。いま、私たちは、「家に閉じこもらないで、元気を出して、楽しくがんばろう！」を合い言葉に、元気を出そう、ふれあい健康づくり運動をすすめています。

囲碁ボール大会を開催して 藤原 剛

受付前から実行委員の手により用具類の準備もできていて、早い方は練習に余念がなかった。

定刻となり開会式、神田塾長より開催についての趣旨説明、続いて囲碁ボールの発祥地丹波市(旧柏原町)より由良普及会長に遠くから駆け付けて頂き、囲碁ボールの生い立ち、生涯スポーツのなかの囲碁ボールの特色・ゲームの楽しみ方等、ご指導を受けてのスタートとなった。参加者の中にはゲームが初めての方も多くおられたが、二期倶楽部の塾生指導員のサポートにより大いに盛り上がり前半戦は終了。

後半戦(優勝戦)は前半の体験を生かしての対戦となった。ゲームが進行し終盤になると更に盛り上がり、チームリーダーが打球先を指示、うまく打球が決まれば歓声、相手側は悲鳴と一挙一動に会場が歓声とどよめきの渦、まさに団体競技ならではの喜び、楽しさを体験し、盛会に大会は終了となった。

参加された方のコメント「このような楽しいゲームを体験したのは初めて・次回開催時には是非参加させていただきたい。又、参加賞品(オリジナル・ガーデンペンチ)には二期倶楽部の心くばりに感銘しました。大事に使用させていただきます」

② 公開講演会「郷土の先覚者、 山片蟠桃をなぜ後世に伝えるのか」 講師 長谷川裕巳先生

平成18年1月29日 播磨町中央公民館

大阪府は、大阪が生んだ世界的町人学者の名にちなむ国際文化賞として「山片蟠桃賞」を設け、日



本文化を広く海外に紹介し、国際理解を深めた著作及び著者を顕彰している。

山片蟠桃のふるさととは、高砂市神爪である。今、山片蟠桃の生誕地、神爪では、地域の先覚者を顕彰し称えるために、郷土歴史研究会が熱心に活動しています。

郷土の歴史を研究し、地域として、山片蟠桃について、後世に何を伝えようとしているのか。講師は、長年の研究の成果から、山片蟠桃の人や業績を紹介し、なぜ、後世に伝えなければならないかを語ってくれました。

郷土の歴史に興味を持つ約60名の参加者が、熱心に聞きました。

講演では、平成10年に地域で取り組んだ生誕250周年顕彰事業をビデオで放映し、活動の内容を。そのあと、山片蟠桃の人と業績を、パネルや写真で紹介してくれました。

講師は、「この取り組みによって、子供たちが郷土の先覚者を知り、郷土に誇りと愛着を感じ、世界のどこにいてもふるさとを思って頑張ることが出来れば」と熱っぽく語ってくれました。

地元の誇り「山片蟠桃」 宮尾 尚子

江戸時代は、武士の時代と思われがちですが、庶民の識字率は70～80%で、勉学意欲も高く、米を扱う大阪商人は商才にたけ、大名を困らせるなど一筋縄ではいかない存在であったようです。

そのような時代にあって、自分の主家を預かり、経営を軌道に乗せ、なおかつ大名にも損をさせず、故郷の高砂神爪村の人々に晩年まで感謝の心を忘れなかった山片蟠桃は、現在でも地元の人々が非常に誇りにしています。

全く知らなかった播磨の偉人の存在を教えてください、ありがとうございます。

③ 公開講演会「カルシウムのことを学ぼう」

講師 本庄覚雄先生

平成18年2月5日 播磨町中央公民館

「カルシウム」というと、私たちは、すぐに、牛乳をはじめ、いろいろな食品に含まれるなど、日常の身の回りにいっぱいあることを思い浮かべます。骨、歯、血液、高血圧、ミネラル供給源など健康に結びつき、女性や高齢者に関わりがでてきます。石灰岩を原料とする炭酸カルシウム製品は、食品添加剤、強化剤として利用されているほか、塗料、プラスチック、接着剤など身近なものに使われています。

カルシウムとは、一体何か。何処にあるのか。どのように作られるのか。何処に供給され、何に利用されているのか。みんなで学びました。

炭酸カルシウムについて 東 敦子

日本人にとって最も吸収しにくいと言われているカルシウムについて、いろいろな面から幅広く貴重なお話を聞かせて戴き、日常私の知識の中にあるカルシウムの観念が覆される位に勉強になりました。

石灰石は地球に優しくアルカリ石灰資源であること、又、日常の暮らしの中にも多く活

躍している素材であるとよく理解できました。不足しがちなミネラルではありますが、成長期にうんとカルシウム貯金をしておかねば更年期を過ぎるとなかなか補給がむづかしいようですね。でもカルシウムがたっぷり含んだ食品を出来るだけ摂取する様習慣づけて健康を呼びさましていきたいと思いました。

(2)「町行事協力事業」

① 播磨町夏まつり・模擬店出店

平成17年7月30日 浜田公園球場

今年は、1日限りとなった町行事「播磨町夏まつり」に模擬店を出店し協力した。



毎年のことながら… 津村 幸代、塩沢千代子

とにかく朝が早かった。そして暑かった。でもよく売れました。焼きそば一筋。なぜかしら夜は遅くまでかかりました。酷暑。何もせずに、そこにいるだけでもしんどいの頑張り抜きました。へとへとになった。みんな声もなくなった。でも。でも。疲れたけれど充実感が残ったような気がします。

夏祭り、もう、来年は無理ですね。こんなしんどいこと絶対にやめです。みんなで、言い合った。でも、去年も同じことを言い合いました。さあ、来年は、どうなることやら…。

② 公民館まつり・参加

平成18年3月5日 播磨町中央公民館

本年初めて、倶楽部塾として「公民館まつり」に参加、協力した。



公民館まつりに参加して 谷辺 陽子

晴天に恵まれた公民館まつり。私は、模擬店のカレーを手伝いました。みなさんに、おいしく食べて頂こうと和牛肉のカレーでした。前々日の買い物から、前日の下拵え、当日の販売等三日間のお手伝いになりました。腕をふるった甲斐があり、こくのある美味しい美味しいカレーが出来上がり、手伝いに加わってくれた男性の3人の方も家庭では、作ったことがないなーと言いながら頑張ってくれました。

美味しかったよと言われるだけでしたが、それだけで和やかな気持ちになりました。

(3) この運動をみんなに広めるための

「体験事業」・内部体験

① 紙粘土細工体験・楽しい

「メッセージボードづくり」

平成17年5月27日 6月12, 19日

播磨町中央公民館

最近ちょっと根気がなくなり、気分も散漫、おまけにいつの間にか指先も不器用になってというこ



とはありませんか。短い時間ですけれども、集中力で、細かい作業に挑戦してみませんか。「紙粘土細工」は、簡単で、楽しいものです。「メッセージボード」を作って、部屋の入口等に架けてみませんか。そこから、家庭のなかで楽しいふれあいが生まれます。

今回は、「紙粘土細工」を取り上げました。

お気に入り「紙粘土」 松前多津子

昔から10人10色とよく申しますが、よく練り上げた紙粘土で花や動物の型を作ります。人形を作る方もいます。

日数はかかりましたが、とても楽しく、作品には満足しています。①よくねりこんだら形を作る。②乾かした作品に色を塗る、又、

乾かす。③ニス塗って乾かす。又、乾かす。紙ですので、壁掛けにしました。軽くて、とても気に入っています。

② 「陶芸」体験・小皿、花瓶、

何でも作ってみよう

平成17年10月2日 播磨町中央公民館

陶芸は、創造の喜びを感じることに出来る人気のある楽しいものです。「一日陶芸体験」に大変人気がありました。そこで今回、「陶芸体験教室」を開きました。



本年の陶芸教室 津村 幸代、塩沢千代子

昨年の播磨町美術展で開催された「一日陶芸体験」への参加が大変に好評でした。そこで今回、倶楽部の自主活動で「陶芸体験教室」が開かれました。

土をさわるといことは、私たちにとって、古代への郷愁みたいなものがあるのでしょうか。とても落ち着いた気分になれば、飽きの来ない作業です。

でも、講師、実行委員の方は、大変でした。時間的な制約もあり、段取りよく準備をしてくれました。生徒の人数が多いので、さあ、あれがないだの、これがほしいだの、勝手なことばかり云って、講師の方は、それに応えながら教えなければならない、目の回る忙しさだったと思います。

教室の後に、まだ、塗り、窯焼きの工程が残っています。ほんとにご苦労様です。

③ 草木染め体験教室・身の回りの色で

染めてみよう

真鍋早織講師

平成17年12月10日 播磨町二子北公民館

「草木染め」は、簡単で、楽しいものです。ハンカチやTシャツなどをタマネギの皮やよ

もぎなど身近なもので楽しむことができます。



草木染め

K・J

たまねぎの皮、くちなし、桜の木等私たちの身の回りの物から、何とも言えない風合いの染め物が出来ました。手絞りで、皆それぞれの色、模様で、世界に一つしかない作品が出来上がりました。

・外部体験

① 「勾玉づくり」・

県立考古博物館開館に関心を持とう

平成17年11月6日 播磨町郷土資料館

県立考古博物館が、大中国古代の村の隣接地に平成19年秋に開館されます。「勾玉づくり」教室を開いて会員の古代に対する認識を深めることにしました。

勾玉とは、縄文から古墳時代に作られた日本独特の飾り玉のことです。



郷土資料館の勾玉づくり

河田 健志

二期倶楽部の勾玉づくりに参加して、弥生時代の住居内で作る、私でも作れるかな・?・心配でしたが皆さんと一生懸命に頑張った甲斐があって思ったより上出来だったと思います。私の勾玉も会心作でした。

今度、私達の自治会、いきいきサロンのグループでも勾玉作りを提案、挑戦したいと思います。

昨日5日(土)晴れ 大中遺跡まつりが盛大に行われた後始末のため、使用した用具を資料館内に持ち込んだので、勉強室が、使用できなくなりました。依って弥生時代の住居内を使用しました。

② 「生涯スポーツ県民ふれあい大会」・ 体験・ふれあい・施設見学

平成17年11月23日 神戸しあわせの村

兵庫県生涯スポーツ連合が、昨年に引き続き、大会を開催しました。大会開催の趣旨は、私たちの運動と軌を一にするものです。

3年前に、ここで「囲碁ボール」と出会い、町に持ち帰り、いまサークル化して楽しいスポーツとして定着し、本年には、当倶楽部が第2回播磨町ふれあい囲碁ボール大会を開いています。



大会に参加して

中谷美千子

しあわせの村は、それは広い敷地の環境のすばらしいところです。もっと近くにあればいつでもいけるのにと少し残念です。老若男女が参加されていて、思い思いのスポーツをしていました。

私は、体を動かし、スマートになって帰りたいと、トランポリンに挑戦しました。年齢を問わず、軽い気持ちでした。でも、丸い小さなステージに乗り、ポンポン飛ぶことのむずかしいこと。体が前に前に出てしまい、落ちそうになりました。横を見ると、涼しい顔で飛んでいる人!!がいました。体験の後、汗をかいて少しは体重が軽くなったような気がします。

村では、野菜の朝市などがあり、思い思いの買い物をしている人などいろいろでした。

他の体験コーナーには、ダーツや囲碁ボールもあり、皆さんなごやかに、楽しんでいました。

(4) 今後の活動のために研修事業・先進地
研修① 介護付有料老人ホーム研修
平成17年6月11日 「ジュリオ朝霧」

「ジュリオ朝霧」は、相続・贈与・売却が出来るマンションで、有料老人ホームを優先的に利用できる権利をつけた日本で初めての施設である。私たちの将来を考えて見る。



終着駅行きはここか 堀 晴夫

エンジョイ二期倶楽部に入会するその日に、ジュリオ朝霧を見学した。

明石公園の東をバスは登り、松が丘小学校前で下車、道を横切り少し下ったところに建物の玄関があった。職員が笑顔で出迎えてくれた。“いらっしゃい”というよりは“お帰りなさい”という感じで迎えてくれたのが印象に残った。

多目的ルームで、横山L.Mと三木施設長からマンションと施設について、それらの特徴と運営方針の詳しい説明を受けた。ジュリオ朝霧が財産型といわれる所以、別棟有料老人ホームの入居権を付けての取得などを話された。

入居者への生活支援については、住人と職員とのスタンス、職員ができること、できないことを見極め日々真剣に取り組んでいる姿勢がよく伺えた。私の場合、息子家族と同居であるため、家屋を処分して入居資金をつくることはできないので、まず、資金の面でゆきづまる。それは別として、誰の場合でも、長年暮らしてきた住まい、地域の人と離れて

生活することは一番難しい決断だと思った。

食後、住宅の見学に移った。Hタイプの住宅は、ダイニングキッチン16.3帖を中心に、全35帖の広さで1人なら十分の空間だと思った。浴場、ラウンジ、レストランなど共用の施設は普通のマンションではないくつろぎの場所である。

引き続き、別棟の介護老人ホームを見学した後、多目的ルームに戻り、ここで、6月定例会を済ませてジュリオ朝霧を後にした。

② 「上山高原エコミュージアム」研修
平成17年8月31日 「ゆめ春來」

「上山高原エコミュージアム」について現地研修し、今後の私たちの活動に生かそうとするものです。



エコミュージアム研修について 徳田 房子

温泉町の現地研修会に行って来ました。温泉町の職員の方から「自然の大切さ、素晴らしさ」を学ばせていただきました。

「豊かな自然と温泉通り」の言葉通りの温泉街で、川の流れを見ながら足湯して、荒湯でゆでたゆで卵をいただく付録もあり、心身共にリフレッシュできました。

上山高原エコミュージアムについて

江田 和恵

エコミュージアムとは、地域ごとに生きた博物館として有形、無形の資源を活かす取り組みで地域活性化を図るものだそうです。

兵庫県にもこんな素晴らしいところがあるんだなと感心しました。

地元研修

① 「ひょうご健康増進プログラム」研修
平成17年8月10日 播磨町中央公民館

「播磨わくわく講座」を受講しました。

「ひょうご健康増進プログラム」では、50の質問に答え、生活体力測定をしました。「はりま健康プラン・とびつきり遊歩」では、ウォーキングとそのコースを学びました。

このような体験も必要では **上田喜代子**
田村 定子

播磨町健康福祉課の推奨で「健康増進プログラム」を体験研修した。参加は会員19名、やはり健康については関心があるようです。

年代別の標準値を基に自分自身の体力及び瞬発力や持続力も知ることが出来た。高齢社会に向け、これからの日常生活の中で急激に下降線を迎える体力でなく現状維持が少しでも長続き出来るように無理をせず、自分にあった運動を常日頃から毎日の生活に取り入れるよう心掛けたい。

指導の先生の話では、筋力は足から衰えるとのこと。“歩くこと”を勧められた。また、自転車も脚力を付けるには良いとの朗報を聞き一安心です。

少し頑張りすぎた人もあり、ハプニングもありましたが、決して「無理は禁物、続けることが大切」年に一度程度は、このような体験も必要ではないかと感じました。

② 「学生研修会」・受け入れ

平成17年10月5日 播磨町福祉会館

「県立総合衛生学院」の生徒3名の研修実習を受け入れた。テーマは、「高齢者活動・健康と生きがい」



どのように感じたかしら… **神田 敬子**

熱心な生徒の研修でした。みんなの前で挨拶をし、趣旨を述べていろいろ質問してきました。そして、ちょうど囲碁ボール大会に備えての公開練習に集まった方々と一緒にプレイに参加しました。その合間にも、いろいろとインタビューをしてメモを取っていました。

「元気ですね」と驚いていました。すかさず、みんなから「若いですから・・・」の返事。生徒代表は、古宮の溝上さんでした。将来、良い看護婦さんになっていただける感じがしました。

③ 「介護保険事業研修会」(当町の場合)

堀 晴夫講師

平成18年3月12日 播磨町中央公民会館

介護保険事業について
(当町社協の場合) について
学習した。



これからもぜひ学びたい **塩沢 岩光**

介護保険制度実施に伴い、播磨町社会福祉協議会が、なぜ事業者として参入していったのか、生々しい当時の状況が語られ、その労苦に頭が下がると共に興味深かった。

播磨町社協には、長い歴史があるが、大きな転機を乗り越えて、今が築かれていると思う。そこに大きな努力を傾けた人々がいる。我々の役目は、その遺産を伝えていくことではないかと思った。

いろいろなことを学んだが、制度のことをはじめ、今後、我々も当事者になることから、折に触れて学ばなければならない。

倶楽部として、このような学習の機会を作って行けば、また新たな存在価値も生まれてくる。よい機会になったと思う。

先進地交流

① 国体リハーサル大会・ダーツ大会

平成17年9月25日おおよスポーツセンター

18年9月30日（土）～10月11日（火）の11日間行われる「のじぎく兵庫国体」「ダーツ大会」のリハーサル大会に参加しました。

杉原加代子さん
が、兵庫県で第5位に入賞、杉原さんは以来すっかりはまって、自宅2階のダーツ練習場で毎日、楽しんでいるそうです。



大会に参加して

寺尾 謙一

養父市にある大屋スポーツセンターへ藤井実行委員を含み、10名が参加した。大会には県内各地域より数多く来ておりスポーツセンターは盛り上がった。活気に圧倒されながら播磨町の面々は、あふれるムードに負けず、1日ダーツ大会を通していきいきと楽しく過ごすことの体験をさせていただいた。

② 国体リハーサル大会・囲碁ボール大会

平成17年10月9日 柏原公民館

「のじぎく兵庫国体」「囲碁ボール大会」のリハーサル大会に参加しました。



囲碁ボール3位入賞

阪口 輝恵

柏原で、兵庫国体リハーサル・囲碁ボール大会が開催され、参加しました。3人1組で試合をし、柏原のメンバーの方からアドバイスをして頂き、お陰で頑張っ、私たちのチーム（上田喜代子、松前多津子、阪口輝恵）は3位に入賞しました。

(5) グループがころ一つになるための

「会員懇親事業」

平成17年8月31日 「ゆめ春來」

グループが一層の融和を図り、今後の活動を円滑に進めるために一泊懇親会を開きました。会員同士は、仲良しが一番。楽しいことがいっぱいありました。



(6) もう一つの活動に挑戦

「ボランティア活動」

① コンビニへの「駆け込み・セーフティステーション活動」

平成18年1月10日 播磨町中央公民館

(社)日本フランチャイズチェーン協会CVS部会の「セーフティステーション活動」に協力します。活動は、「まちの安全・安心な生活拠点づくり」「次世代の青少年健全育成」に取り組む活動で女性・子どもの駆け込み対応、110番、119番通報は時節柄重要です。

私たちは、毎日ウォーキングや買い物等でコンビニ店周辺を生活圏にしているの、不審者を見つけた場合、コンビニ店に駆け込み連絡、コンビニ店から関係カ所への連絡をお願いします。

1) コンビニ店にお願いしたこと

① 「セーフティステーション実施店」の表示ポスターを入口の見やすいカ所に掲げること。

② 地域での「活動」啓発行事に参加のこと。
2) 当倶楽部の協力の取り組み・「駆け込み・セーフティステーション活動」

- ① 不審者を見つけた時、コンビニ店に連絡。
- ② 「コンビニ活動」を地域に広め、協力のネットワークを広げていく。

10時～ 発足式 1) 集会

10時30分～ 2) ウォーキング

プラカードを先頭に、東播磨青少年本部からの、のぼり3本を掲げて行進する。ローソン本荘東店、セブン-イレブン播磨南高校前店のコンビニ前で店長と実施店表示のポスター前で写真撮影をする。



発足式アピール（要約）

- 1 コンビニの「活動」に協力します
- 2 不審者等を見つけコンビニへ駆け込みます
- 3 毎日、ウォーキングをします
- 4 「活動」を地域に知らせネットワークを構築
- 5 「ひょうごハート・ブリッジ運動」に参加

「駆け込み・セーフティ…活動」の経緯

- 1) 平成16年11月16日 平成16年度第2回東播磨地区青少年育成スクラム会議で活動紹介
- 2) 平成16年12月20日 協会が訪問調査
- 3) 平成17年2月2日 三役会で取組み決定
- 4) 平成17年2月13日 例会で取組みを決定
- 5) 平成17年5月29日 例会から調査活動
 - ①コンビニ町内設置場所調査
 - ②実施店表示有無調査
- 6) 平成17年8月10日「播磨町のコースとウォーキング」を学習、
- 7) 平成17年8月26日 声かけ・見守り「ハートブリッジ運動」登録、カードとバッジ受領

8) 平成17年9月18日 「エンジョイ二期倶楽部」ネーム入りユニフォーム購入

9) この間、①町内のコンビニ設置状況調査、地図作成②小学校の通学路資料収集

③7月21日県内セーフティ…活動の実施④店に協会の「セーフティステーション」表示有無調査、協会に表示を依頼

「駆け込み活動」

真野すが子

お天気も良くBAN BAN-TVの人たちが取材で、コースを一緒に回ってくれました。途中に下校の子供たちと出会い、インタビューをしながら、楽しく歩くことが出来ました。

② 施設慰問・

あへの里慰問で隠し芸など披露

平成17年11月22日 「あへの里」

みんなで何かボランティア活動をして、社会にお返ししよう決めました。その一つが、福祉施設への慰問活動です。



演技の終わった後、職員がマイクを向けてお客さんのサービス参加者や特別養護老人ホーム入所者に感想をたづねてくれました。「体操をして、みんなで歌って、楽しかった」「とても楽しかった」「きょうは良かった」「ここに住んでいるお陰です」「歌、踊り、体操、手品、みんな素晴らしかった」次々に喜びや感謝の気持ちを語ってくれました。

あへの里慰問

上田喜代子、田村 定子

エンジョイ二期倶楽部としては、初の施設慰問です。お客様は約40名、それに、会員の参加が15名。軽い運動に始まり、民舞、唄、フラダンス、手品と内容的には非常にバラエティに富んだ1時間でした。

一方的に見て頂くだけでなく、お客様にも

参加して貰い、明るい笑顔を見せて頂いたことは、逆に私たちも勇気を頂いて帰りました。

しかし、反省する点も沢山あったと思います。これらを今後の課題として、次回は前回より、少しでも前進できればと思います。お客様の声として「今日は来て良かった」との言葉を聞き、私たちは「来て良かった…もっと頑張らなきゃ」と…。

(7) 外部へのアピール「PR活動」

① 新聞掲載・TV放映・広報・表示・陳列

・神戸新聞

平成18年1月11日 駆け込み・セーフティステーション発足式

平成18年2月4日 公開講演会「山片蟠桃」

・読売ファミリーニュース

平成18年2月15日エンジョイ二期倶楽部

・ミニコミはりま

平成17年12月施設慰問・囲碁ボール大会

平成18年2月公開講演会「山片蟠桃」

「カルシウムのことを学ぼう」

・広報はりま

平成17年8月 囲碁ボール

平成18年4月 セーフティステーション活動

・BAN-BAN TV

平成18年1月16日

駆け込み・セーフティステーション発足式



・表示

平成17年9月18日ウインドブレーカー購入



・陳列

平成17年11月30日から10日間中央公民館に陶芸教室作品を展示



3 塾からの研究報告（提言・構想）

「元気を出そう！ふれあい健康づくり運動」について、この1年間取り組みをすすめてきました。そこで得られた新たな課題については、「平成17年度事業のまとめ」で、運動の趣旨、実施事業と共に既に述べたとおりです。

その部分が研究の成果と云うことになりませんが、しかし、内容にあるとおり、この運動自体が、住民自らが、自主的に行うべき性格の強いものと自覚していますので、町行政に、これをすべきであると提言することには、いささか躊躇するところです。

そのことを前提に、提言をさせていただくこととします。

当塾の活動は、ジャンル分けをすると、「ふれあい」「健康づくり」「熟年パワーを発揮するボランティア活動」「楽しさの追求」「寝たきり予備軍への呼びかけ」などです。

その項目毎に提言することも考えましたが、今年度は、箇条書きで、重点的なものとします。

提言

1 不審者から子どもを守る全町あげでのネットワークづくりをすべきである。(私たちは、駆け込み・セーフティステーション活動を今後発展させますが、コミセン、自治会、PTA、老人クラブなど活動されていますが、バラバラである。連携を強めるべきである。)

2 ウォーキング推奨キャンペーンをすべきである。(いろいろ町として取り組んでいますが、まだ効果的でないように思います。)

3 先覚者を顕彰し称える運動を強力にすすめる子供たちの郷土への誇り、愛着心を醸成すべきである。

4 囲碁ボールは、軽・軽スポーツである。健康維持の媒体として優れたものである。町として振興策を考えるべきである。

5 エコミュージアム活動として、「海」を取り上げるべきである。